



さかもと いさお  
坂本 勲生 氏

生年月日 昭和 3 年 7 月 21 日生

住 所 田辺市本宮町本宮

昭和 23 年 (1948 年) に和歌山師範学校を卒業ののち、教員として和歌山県に奉職し、以来 40 年の長期にわたって小・中学校で教鞭を執り、とりわけ、へき地教育に心血を注ぐ。

昭和 63 年 (1988 年)、本宮町立三里中学校校長を最後に退職したのち、翌、平成元年 (1989 年) に本宮町町史編さん室長に就任、町史編さんの中心的役割を担う。それは、自ら足を運んでの資料収集はもとより、様々な編さん業務と直接かつ精力的に向き合う姿勢を堅持し、16 年の歳月をかけた本宮町史 (「近世史料編」「近現代史料編」「文化財編・古代中世資料編」「通史編」) を完成させる。また、平成 2 年 (1990 年) からは本宮町文化財保護委員会委員に、さらに平成 5 年 (1993 年) から同委員会委員長に就任し、本宮町内の文化財の保護・研究に力を尽くすとともに、生涯学習サークル「古文書に親しむ会」を主宰するなど、郷土の歴史・文化研究のリーダーとして活躍している。

一方、平成 2 年 (1990 年) に郷土の歴史・文化の魅力を伝える観光ガイド「紀州語り部」として財団法人和歌山県観光連盟の登録を受け、歴史の道「熊野古道」の語り部第一人者として活動を始める。その後、平成 10 年 (1998 年) には「紀州語り部」の登録を受けたガイドによって組織された「本宮町語り部の会(現熊野本宮語り部の会)」の会長に就任し、翌 11 年 (1999 年) に紀南地方 16 市町村を会場に開催された「南紀熊野体験博」では、古道ガイドとして、時には古文書の解説を挟みながら幅広い知識と経験をもとに熊野古道の案内を行うなど、全国各地から熊野の地を訪れた来訪者に心地よいもてなしを提供する。こうした長年の活動により、平成 15 年 (2003 年) 12 月には、観光振興のために活躍する地域のリーダーとして、国土交通省の「観光カリスマ百選」選定委員会から「熊野古道の人気を支える語り部のカリスマ」に選ばれる。

平成 18 年 (2006 年) 現在も世界遺産の地にあつて熊野本宮語り部の会会長として、現地研修会の開催や説明のための資料収集、冊子の編さん等に取り組む傍ら、「語り部」研修会において自ら講師を務めるなど、様々な活動を通して後進の育成や会員レベル向上に力を傾けるとともに、本宮地域のまちおこしや地域振興、熊野古道の保全・PR など幅広い分野で活躍している。

## 第 37 回 (平成 18 年)

(略 歴)

昭和 23 年 (1948 年)	和歌山師範学校卒業
昭和 63 年 (1988 年)	本宮町立三里中学校校長を退職
平成 元 年 (1989 年)	本宮町町史編さん室長
平成 2 年 (1990 年) 4 月	本宮町文化財保護委員会委員 (平成 5 年～同委員長)
平成 10 年 (1998 年)	本宮町語り部の会 (現熊野本宮語り部の会) 会長
平成 15 年 (2003 年) 12 月	語り部として国土交通省「観光カリスマ百選」に選ば れる
平成 17 年 (2005 年) 5 月	田辺市文化財保護審議会委員 (同副委員長)
平成 17 年 (2005 年) 8 月	田辺市景観保全審議会委員
平成 18 年 (2006 年) 4 月	和歌山県文化財保護指導委員